

事業所名 あゆの里

作成日： 平成 26 年 1 月 28 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	利用者主体の援助を目指し、利用者が食事作りが出来るよう取り組んでいるが、現状は、利用者の重度化が進んでおり、一部の利用者による参加(野菜の皮むき、野菜を切る等)になっている。	重度化してきている利用者の方にも、食事作りに伴う軽作業ができるだけ利用者主体で出来るよう支援する。	・利用者主体による食事作りの意義を、職員が理解、浸透するよう、定期的に勉強会をしたり外部研修を行う。 ・食事にかかる作業を1つでも良いので1日1個は関わるよう声掛け支援する。	12 か月
2	13	職員の入れ替わりによる再研修の必要性がある。意識の統一、個別のケア方針の話し合い、家族との良い関係作りを構築していく必要がある。またターミナルケアの希望が出た場合に備え研修が必要である。	認知症ケア、ターミナルケアの基本を研修しアセスメントの重要性を認識し、ケアに反映する。	・現在使用のアセスメント様式にセンター方式の一部を導入し、より多くの情報を知り対応できるようにする。 ・家族との個別面接を行いあらためて情報を収集したり理解を求める。満足度やターミナルケアの希望等も確認していく。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。